

たくさんの本とふれあおう！ 後期読書旬間



主な内容は、朝の一斉読書・図書委員による紙芝居・姉妹学級の先生によるお話の部屋でした。読書旬間中は、朝から図書館にはたくさんの子どもたちが訪れ、本に親しむ姿が見られました。また、5日（水）の校長講話では、宮澤賢治の作品を紹介していただき、「雨にも負けず」を全校で読み、暗唱をしました。

「雨二モマケズ」を覚えた子どもたちが次々と校長室を訪問しては、私の前で暗唱していく。最初は認定証の用紙60枚用意しただけであったが、間に合いそうもなく更に150枚買って頂いた。6年生と5年生のークラスが、以前からこの詩を知っていたので、大勢合格しているが、詩を紹介してから2日目には2年生の1人が初めて合格した。更に4日目に1年生3人が同じ日に合格した。1年生が、この難しい詩を暗唱していく。低学年は無理かなあと考えたが、そんなことはなかった。やってできない事はないことを1年生は証明してくれた。



しかし、ちょっと投げかけただけで、これだけの反応があった。先生方の中にも私の前で暗唱した方がいた。学級の子どものために、自分がやってみせるのだと言う。率先垂範である。その先生に「先生もすごいけど、子どもたち・・・本当にすごいね」と話すと「本校の子どもは『打てば響くんです』とおっしゃった。心が素直な証拠である。素直だから、信じて実行する。運動でも何でも素直でなければ決して伸びないと言われる。「頑張ってみよう」と言われて「頑張る」子どもが大勢いることが嬉しいし、ありがたいと思う。なお、12月14日には保護者が挑戦に来られた。子どもに言うにはまず自分からと言って挑戦し合格された。家でお父さんやおばあちゃんと一緒に覚えたのだという。すばらしい家族だと思った。【校長先生の話より（職員会）】

6年生がリードする屋代小の元気なあいさつ！



「6年生が自ら元気なあいさつのお手本を示し、あいさつがあふれる屋代小学校の伝統をつくっていこう。」と6年生があいさつ運動をしています。朝登校班の班長が集合場所で自分からあいさつをします。交通当番の保護者や地域の方に会ったら、すすんであいさつをし、できていない班の子たちに呼びかけます。学校に

着いたら、当番の6年生が一足早く校舎に入り、それぞれの場所に分かれて、教室に向かう1年生から5年生に大きな声であいさつをしています。6年生の姿を見て、下級生は今まで以上に明るい元気なあいさつをするようになり、学校の中に元気なあいさつの声がひびくようになりました。交通当番をしている保護者から「班の全員があいさつをしてくれるようになった。」「大きな声であいさつをしてくれるようになった。」「6年生が下級生にあいさつをするように指導していました。」とうれしい報告も届いています。「地域の方へのあいさつをさらに良くしたい。」と6年生では考えています。子どもたちのあいさつを地域でも応援していただくとともに、あいさつの様子を聞かせていただくとありがたいです。



笑顔・あいさつ・協力のわ ゆいと祭り 12/21

縦割りのゆいとグループになり、5つのゲームを楽しみながら、かくしワードを完成させてい



きました。6年生を中心に上級生が声をかけ、指示を出しグループをまとめていました。1年生の手をひいてあげる子、おんぶしてあげる子、やり方や言い方を教えてあげる子など心温まる姿がたくさん見られました。

12/29～1/3は学校が無人化になります。忘れ物等で校舎には入れません。休み中の事故や大きなけがは、学級担任に連絡をお願いいたします。